



はちの子

2月の目標 お世話になった ひとたちに かんしゃしよう

本好きな子供に育てる

今年度、子供たちとの3つの約束の一つとして「本をたくさん読もう」があります。富西小の年間平均読書冊数のめあては70冊です。さて、本好きな子にしたい。でも、なかなか本好きな子に育たない。こうした思いを多くの保護者の方はいただいているでしょう。

人間が考えたり、想像したりするのは、全て言語によります。人間の脳の左の部分は、言語中枢であると言われていたますが、この左脳を十分に発達させる意味で、読書は大事な役割を果たしています。また、本を読むという行為は、学力の根底をなす言語能力を育てるだけでなく、感性をつかさどるといわれている右脳を発達させ、豊かな人間性を育てるという働きの上で、かなり意義が高いのです。では、本好きな子にするためには、どんなことに留意したらよいでしょうか。



- ①学年にふさわしい本だけでなく、子供の希望する本も選ばせてください。
- ②親子で読める本を選んでみましょう。
- ③子供の興味・関心の深い分野をつくり、それを読書に発展させましょう。
- ④親子で図書館を利用して、親子で本を借りましょう。

世代間交流！ありがとうございました！

コロナ禍のため中止だった世代間交流(ザ・わくわく)が3年ぶりに再開しました。

6月七夕飾り(1年)、10月グラウンドゴルフ(4年)、11月喫茶店・サロン(5年)、12月お正月の遊び(1年)、1月ボッチャ(6年)、2月須賀神社について(3年)、2月おもちゃ作り(2年)。子供たちは、いろいろな体験ができて大喜びでした。それぞれの発達段階において、地域の人々との交流をとおして地域社会の一員であるという自覚や思いやりの心が確実に育っています。富勢地域ふるさと協議会福祉事業部、利根町会、近隣の皆様、保護者の皆様ありがとうございました。

